

尾鷲 地物 辞典

【おわせじものじでん】

尾鷲の地物や観光のお問い合わせはこちらまで!

協同組合 尾鷲地物産協会
三重県尾鷲市中井町12-14
TEL 0597-23-8281
FAX 0597-23-8269
<http://www.owase-kk.jp>

銀行
尾鷲市工合銀行
三重県尾鷲市相田町14-45
Tel.0597-22-2611

旅館
尾鷲市宿工製火持温泉
三重県尾鷲市中央町10-43
Tel.0597-23-8215

尾山川の水と木

尾山の田は下からの畠やんをや。畠で水が大きて耕こあるやど、畠に築ね廻るどか。拿らむわふみのいとむ築めらまな。ひとひはお五四田正くら「あめとまよひ」。おも、一回来て休憩したむどくれど、やうじくやむ。

尾山の海から陸から湖へた野原がやでてて、尾山の北西にある大台ヶ原の山にありまするやどりのしご。なんせ尾久島の次に田が多く。1年1回〇〇〇mづらの道あるしと、東京の一倍。でも伊豆田原はいかじきなりで。耕れた田の数は東京より廢わぬくよ。じいゞそ上陸や開拓すか」とぞ。

尾山川の水と木

質のええヒヘキが育つんや。平なよいらあな。山から原に海に流れるよんな土地やもとで、雨が山の部分を原に流したるんや。おかげで海は魚がよう漁まりてくるし、魚はおこしなるえきど。山は種やどゆ。やけどなあ、これがまたヒヘキには逆にええんやな。栄養が少なうもんだとゆべり、育つ。



年輪の縞あご、田のあひた想綱な木になるんや。しかも雨が多いわど、木は腐らんよ。山の土台や地になつても腐つにく。関東大震災の時、尾山川ヘキで建てた家は壊れなんだ、ひとつ有名な話なんや。なんせ、尾山の林業には四百年近い歴史があるもや。林の林業には四百年近い歴史があるもや。昔は船で関東の方へ運びよつたんや。



よおーい、尾鷲やで

尾鷲、どこにあるか、知ってるかな。
なんじや、聞いたこともないでかな？

三重県の南の方、紀伊半島の東側。
熊野古道があるところ、
ひとた方が一歩かりやすくなる。

人口は、二万人くらい。

小さな港町や。

峠をなんとか越えてこうなあがん。

ヤケビ、海と山もあって、

魚はうまいし、ええ木も育つ。

雨が多め、もんび水はきゅうやーな。

わしら生ヨれ育ったもんにしたら、

楽園みたりなとこなむ。

どんな楽園か知ってヨーもんがな、

尾鷲で暮らしてたら

当たり前のことや、

かららがいつも食べとるもんと

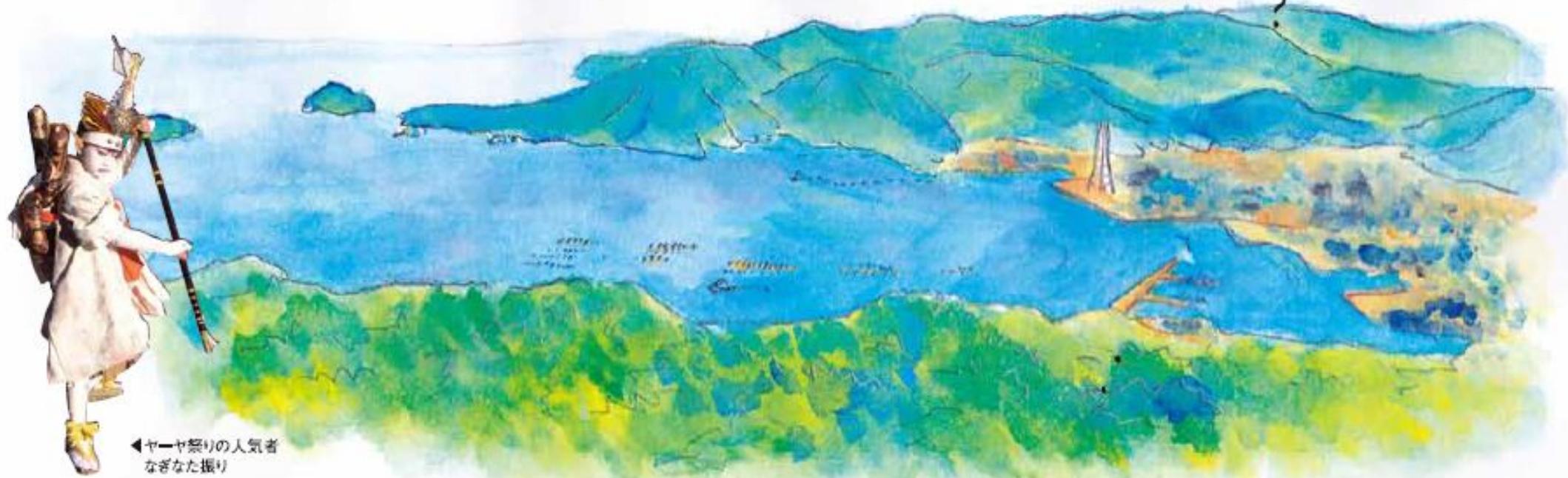
ならへてみだんな。

ナマコと読んでみていい。

きっと知りた」と思たら、

いつも尾鷲へ遊びに来る。

案内するでな。



◀ヤーヤ祭りの人気者
なぎなた振り

古道 熊野

熊野三山(熊野
本宮大社・熊野速
玉大社・熊野那智
大社)へ通じる五つ
の参詣道のこと。

二〇〇四年「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されたんさ。尾鷲は伊勢神宮と熊野三山を結ぶ「伊勢路」が通つとるよ。馬越峠や八鬼山越えが人気やな。千年も前からある道やけど、鉄道(紀勢本線)が全通する昭和三十年中頃までは、となり町へ行くのに生活道として歩いとつたんやで。ガイドの語り部さんが案内してくれるよ。

ヤーや祭

年明けてしばらくすると、祭りの準備で町中がそわそわしてくる。江戸時代から続く尾鷲神社の祭りで、毎年一月一日・五日まで行われる。白装束の男衆がぶつかって押し合いする「練り」は迫力あるで。清めの儀式で真っ裸の男衆が真冬の海に飛び込む「垢離挿き」も見応えある。最終日には大名行列や弓儀式、お獅子のお出ましもあつてな。よそにお尾鷲の人も帰ってきてにぎやかになるんさ。



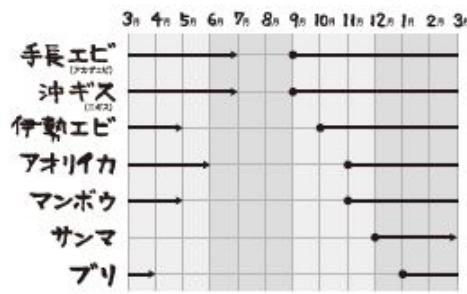
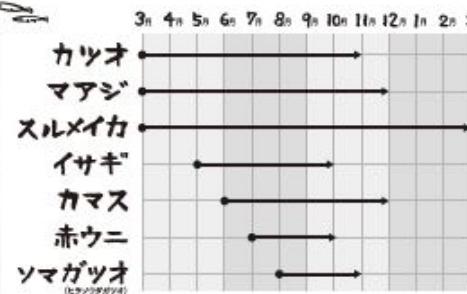
男衆が熱くぶつかり合う「練り」。これは合戦やな。「ヤーや祭り」の名前は戦国武将の名のり「やあやあ我こそは」が由来って言われとんさ。



語り部さんの熊野古道ガイド



尾鷺魚旬曆



尾鷲



大漁旗

A photograph showing a large quantity of dried fish, possibly sardines, hanging from a wooden beam under a thatched roof. The fish are numerous and appear to be sun-dried.



